

国立大学法人島根大学役員会（第373回）〈議事要録〉

日時	令和3年12月21日（火） 14:00 ～ 15:05
場所	本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）
出席者	服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，長澤理事，上野理事 宮協理事
オブザーバー	千家監事，栗原監事
欠席者	なし
	〔陪席：企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長 自然科学系事務部長，監査室長，研究協力課長〕

議題1 第4期中期目標・中期計画（素案）の修正について

- 肥後理事から，第4期中期目標・中期計画（素案）の修正について説明があった。
- 千家監事から，経営協議会の書面審議状況について質問があり，肥後理事から，現時点で委員全員からの回答は出揃っていないとの回答があった。
- 審議の結果，経営協議会書面審議において大きな修正を要する意見等があった場合には改めて役員会で審議を行い，軽微な修正の場合は学長に一任することとして原案どおり議決された。

議題2 第4期中期目標（原案）・中期計画（案）の策定について

- 肥後理事から，第4期中期目標（原案）・中期計画（案）の策定について説明があり，併せて，「その他の記載事項」のうち朱書き部分については，現時点で文科省から項目や予算額等が示されていないため記載例として例示しているものであるとの補足説明があった。
- 審議の結果，朱書き部分については文科省からの連絡があり次第作成することとして原案どおり議決された。

議題3 国際観光教育推進センターの設置について

- 肥後理事から国際観光教育推進センターの設置について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題4 令和3年度補正予算（第2号）（案）について

- 長澤理事から令和3年度補正予算（第2号）（案）について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（研究不正防止体制）

- 大谷理事から定期モニタリングの実施について（研究不正防止体制）説明があった。
- 服部学長から，外国人に対する研究倫理教育について，受講指導の結果受講率は向上したのかとの質問があり，大谷理事から向上しているとの回答があった。
- 服部学長から，学部1年生に対する研究倫理教育はどのようなものかとの質問があり，大谷理事から，1年生はレポート作成における留意点などの基本的な内容となっており，年次進行に応じて卒業論文などを扱う内容となっているとの回答があった。服部学長から，研究活動不正行為対策委員会において学部生が研究に入る前にバランスの良い研究倫理教育を実施することを必須とする方針が示されたことから，その方針に基づき取り組んでほしいとの意見があった。
- 藤田理事から，学部学生に対する研究倫理教育等の取り組みに遅れがみられるため，早

い段階からの進捗管理を課題として記載すべきではないかとの意見があった。大谷理事から、進捗管理が不十分な点があったため、早く取り掛かり、定期的に進捗管理を行う必要があるとの説明があった。

- 千家監事から、他大学の研究不正に係る調査報告書に、e-learning はよりレベルの高い APRIN プログラムの受講を義務付けているとの記載があったが、本学が受講を義務付けている e-learning の内容やレベルを確認しておく必要があるのではないかとの意見があった。大谷理事から、論文を投稿する際に要求度が高い分野においては APRIN を受講しているが、APRIN かどうかに関わらずまずは全ての方が研究倫理教育 e-learning を受講し、順次 APRIN に移行する必要があるとの説明があった。
- 藤田理事から、今回に限らず内部統制報告書全般について、統制活動の内容としていつ何を実施し、どういう効果があったのか、具体的な情報をあらかじめ準備のうえ報告書を作成してほしいとの依頼があった。

報告事項 1 工学系新学部設置準備室について

- 服部学長から工学系新学部設置準備室について報告があった。

報告事項 2 令和 2 年度に係る業務の実績に関する評価結果について

- 肥後理事から令和 2 年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

報告事項 3 令和 3 年度における国立大学法人島根大学の中小企業者に関する契約の方針について

- 長澤理事から令和 3 年度における国立大学法人島根大学の中小企業者に関する契約の方針について報告があった。

報告事項 4 島根大学における冬季の省エネルギーの取組みについて

- 長澤理事から島根大学における冬季の省エネルギーの取組みについて報告があった。

報告事項 5 附属病院運営状況について

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。
- ・宮脇理事から、観光教育に関して、これからの観光は体験型やストーリー性を持たせたものを考える必要があり、学生からの様々な意見を取り入れると面白いのではないかとの意見があった。
- ・上野理事から、研究不正防止について、教育や研修はもちろん必要だが、研究不正事案が発生しないような良い仕組みがあれば取り入れて欲しいとの意見があった。